

東洋大学校友会
新潟県支部会報
第36号

令和2年8月22日発行

南水

発行
東洋大学校友会新潟県支部
発行者 木村 国夫
発行所 〒940-0075
長岡市渡里町3-11
TEL 0258-32-7868
印刷・製本 株式会社 本間印刷所

令和元年度 第88回総会 長岡にて開催



●●● 巻頭言 あいさつ ●●●

支部長 木村 国夫
S45年経済学部経済学科卒

東洋大学校友会新潟県支部会員の皆様には今回のコロナウイルスにもめげることなくご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃支部活動に、ご支援ご協力をいただきありがとうございます。さて南水36号を各位にお届けします。今年の箱根駅伝に、私はヒヤッとしました。下馬評は悪くなかったのに結果はまさかの10位、選手力に差があったのか、検証して対策を練って今後に備えてほしいものです。

東洋大学の印象を尋ねると10人中8人は「駅伝の〇〇」と答える。しかし今我々は、グローバル化に対応できる地球規模で活躍する「人財」を育成しようと考えている。新学部を開設するにあたって、大学はその熱意を日本経済新聞に公報しました。(2015.11.23と2016.3.29)人口減少・入学生の定員数管理・大学の連携・再編・統合等の社会的変化に対するなかで、私は東洋大学が「大学の改革と国際化」への方針を力強く世に示したものだと思っています。

この「人財」育成方針については、2014年に文部科学省から「スーパーグローバル大学創成支援(タイプB)」に採択され10年間、国から補助金を受けスタートしました。大学は、この方針を牽引するために、国際通用性の高い教育プログラム、普遍的な全世代グローバル教育、持続可能な教育プラットフォームの三代要素を掲げ、哲学教育・国際化・キャリア教育の三つの柱を設定し、教育・研究活動を展開しております。そして2023年度に、国は、大学が当初の目標、つまり体制・計画の進捗経過、それらの検証と改善点等について結果を評価することになります。

しかし今グローバル化が進展するなかで様々な問題が出てきました。技術的には、ITやAIを使って生産が自動化しましたが、その環境に適応できる者できない者が現れたり、社会的には、巨大企業の出現は新規企業の参入が困難になったり、下位企業に対し優越的地位の乱用が疑われる行動に出たり、さらに貿易戦争や感染症の発生から物資の供給網が機能不全となり、地球規模で大混乱となりました。又生産の合理化を目的とする企業に対する世界の見方も変わってきました。世界の眼はSDGsを企業における責任と見なし、投資家はESG投資を進めております。さらにその企業力は自国の安全保障に対し問題が無いのかとの見方まで考えられるようになってきました。

大学の活動は、このような社会や環境の変化を踏まえて今日まで実践してきた経験をデータ化し、ITやAIを利用・分析しそこから得られる改善点を未来に向け活用し、持続可能な社会の構築を目指す「人財」の育成に励んでおります。又2023年度後の目標として、国際学部等を中心としたグローバル化への教育における基本的な考え方を全学部生への共通科目と設定し、各学部で専門的な知見で討論し、全学部対抗コンテストに位置付けたらどうでしょうか。このコンテストは、各学部の特性や対象とした地域・企業の文化を理解し共に生きようとする「人財」を生み出すと考えます。

私共校友会は、この多様な「人財」から講義を受けたり、声掛をして会への加入を促し、交流することで校友会の能力向上に生かしたいと思っています。

最後に、残念ながら2020年度の支部総会は、下越地区校友の下準備があつたにもかかわらず、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大で中止となりました。2021年度の総会は90回の記念すべき年となります。多数の校友の皆様と祝いたいと願っております。

参考・東洋大学はいま・2007・2018・2019・創立125周年記念事業報告書2013・東洋大学報2014・創立150周年に向けて2014

・グローバルリーダー育成への挑戦2015
SDGs=SUSTAINBLE DEVELOPMENT GOALS
ESG=ENVIRONMENT SOCEIAL GOVERNANCE

第88回新潟県支部総会概要

令和元年8月25日 長岡グランドホテル



支部総会会務報告

1. 開会 副支部長 佐田 雅彦
 2. 物故者への黙祷 高坂 寛二
 3. 支部長挨拶 支部長 木村 国夫
 4. 校友会本部挨拶 東洋大学校友会会長 神田雄一 様
 5. 祝辞 東洋大学常務理事 油井貫行 様
南水会新潟県支部長 鈴木一紀 様
東洋大学校友会城西支部相談役 飯吉伸一 様
 6. 議長選出 副支部長 本間直彦
 7. 議事
 - ①平成30年度会務報告 新潟地区事務局長 阿部古弘
 - ②平成30年度会計報告 顧問 斎藤 淳
 - ③監査報告 前監査 坂田康雄
 - ④令和元年度事業計画 事務局長 高坂寛二
 - ⑤令和元年度予算 会計部長 西脇 晃
 - ⑥平成30年度レディース会報告
レディース会事務局長 高崎弘子
 - ⑦令和元年度レディース会事業計画 高崎弘子
 - ⑧平成30年度山古志合宿激励会の報告 顧問 斎藤 淳
 - ⑨閉会 副支部長 佐田雅彦
 8. 講演 東洋大学ライフデザイン学部教授 三浦節夫 様
 9. 写真撮影
 10. 懇親会
 - ①開宴挨拶 支部長 木村国夫
 - ②乾杯 顧問 安藤良顕
 - ③アトラクション 居合道 板友 今井博夫 様
 - ④歓談
 - ⑤大学歌斉唱 高崎 弘子他有志
 - ⑥万歳三唱 監事 津田 進
 - ⑦閉宴挨拶 副支部長 本間直彦
- 新潟県支部校友会員の皆様、本当にありがとうございました。



開会宣言する佐田副支部長



木村支部長の挨拶



神田校友会長の挨拶



油井常務理事の祝辞



本間副支部長の議長で総会が進行



三浦教授による特別講演



安藤顧問(壇上)による乾杯で懇親会開始



校友の今井博夫氏が迫力のある居合道を披露



高崎さん(女性)を中心に校友有志との校歌斉唱

平成31年度 東洋大学校友会新潟県支部収支計算書

(自:平成31年4月1日~至:令和2年3月31日)

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 摘要. Includes sub-sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 摘要. Includes sub-sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with columns: 次期繰越収支差額の内訳, 現金, 普通貯金, 計.

上記のとおりご報告いたします。
令和2年4月5日 支部長 木村 国夫
上記決算報告について監査した結果、適正であると認めます。
令和2年4月5日 監査 津田 進

平成31年度 (令和元年度) 会務報告
(2019年4月1日~2020年3月31日)

2019年

- 3月24日(日) 中越地区役員会 坂井邸
4月28日(日) 第1回役員会(新役員体制・年間事業計画協議)坂井邸
5月18日(土) 平成31年度支部長会 東京
6月2日(日) 第2回役員会(支部総会などを協議) 坂井邸
6月8日(土) 井上門博士没後100年記念講演会 長岡市中央図書館
6月23日(日) 上越地区総会
6月30日(日) 中越地区役員会 10時~14時
坂井邸(総会等案内状送付作業)
7月7日(日) 城西支部総会
7月21日(日) 浦水会新潟県支部総会(下越副支部長)
8月 大学野球サマリー観戦・激励 中止
8月25日(日) 校友会新潟県支部総会 長岡グランドホテル
9月 陸上競技部「山古志合宿」 中止
10月5日(土) 米百俵まつり
10月20日(日) 大学対抗ゴルフ大会
10月27日(日) レディースクラブ「女性の集い」
11月2日(土) 白山会(下越地区交流会)
11月10日(日) ホームカミングデー
12月1日(日) 第3回役員会(年間活動の総括など、忘年会)

2020年

- 1月25日(土) 箱根駅伝祝勝会(長岡 彦乃)
2月17日(月) 安吾忌(3名出席)
4月5日(日) 支部会計監査(佐田邸 10:00~)

令和2年度 東洋大学校友会新潟県支部収支予算書(案)

(自:令和2年4月1日~至:令和3年3月31日)

Table with columns: 科目, 令和2年度予算案(円), 平成31年度予算額(円), 平成31年度決算額, 増減(円), 摘要. Includes sub-sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with columns: 科目, 令和2年度予算案(円), 平成31年度予算額, 平成31年度決算額, 増減(円), 摘要. Includes sub-sections for 収入の部 and 支出の部.

令和2年度 事業計画案
(2020年4月1日~2021年3月31日)

2020年

- 3月22日(日) 新年度計画準備役員会 佐田邸
4月26日(日) 令和2年度 第1回役員会 長永寺(11:30~)
5月16日(土) 令和2年度支部長会 東京...中止
6月7日(日) 第2回役員会(支部総会などを協議)坂井邸
6月21日(日)頃 上越地区総会
6月28日(日) 中越地区役員会 坂井邸
(総会等案内状郵送 10:00~14:00)
7月 城西支部総会
7月 浦水会新潟県支部総会
8月 大学野球サマリー観戦・激励
8月22日(土) 第89回校友会新潟県支部総会(下越地区)新潟市
9月 陸上競技部「山古志合宿」
10月3日(土) 米百俵まつり
10月18日(日)頃 大学対抗ゴルフ大会
10月25日(日)頃 レディースクラブ「女性の集い」
10月31日(土)頃 白山会(下越地区交流会)
11月8日(日) ホームカミングデー
12月6日(日) 第3回役員会(年間活動の総括など、忘年会)
(11:30~ 会場:)

2021年

- 1月23日(土) 駅伝祝勝会(長岡市 彦乃)
2月17日(水) 安吾忌
4月4日(日) 支部会計監査(10:00~)

レディースクラブだより

令和元年度レディースクラブ「女性の集い」

S52年法学部経営法学科卒 高崎 弘子

今年度は地産地消を推奨している新潟県の中でも、水と空気が美味しい中越地区の六日町への集いを企画しました。

ここ数年、女性会員の参加者が一定し、新規の参加が得られないので、男性にもお声掛けしました。

当日は電車移動の際の雨も、着くと同時にあがり、企画にはなかった坂戸山を眺めながら「お六の湯」の足湯に浸かり、地元の駅伝選手との交流もあり、ほっこりした時を味わいました。

その後、雪国まいたけ物産館で、バイオセンターのモニターを見学したり、新鮮なまいたけや地元のお菓子をお土産として購入しました。隣接したレストラン雪国では、キノコ汁やまいたけの天ぷら等、きのこづくしのお料理に舌鼓を打ちました。白米は炊き立ての南魚沼産のこしひかりがとても美味しかったです。

直江兼続公伝世館の見学では、係の方のガイドで、山城のジオラマや甲冑レプリカに歴史の重みを感じました。

今後、男女共同参画の意味でもレディースクラブ「女性の集い」の名称を変更し、少しでも多くの方の参加が得られるように、考えていく必要性を痛感した一日でした。



お六の湯の足湯に浸かる参加者

令和元年度(第15回)大学対抗親善ゴルフ大会結果報告

S53年工学部応用化学科卒 吉田 実

昨年10月20日(日)に妙高サンシャインゴルフ倶楽部で第15回大学対抗親善ゴルフ大会が開催されました。当日は朝まで雨模様でしたが、東洋大学チームがスタートする頃は雨も止み曇り空の下で楽しくプレイすることができました。

今年は上越からの4名でAチーム、長岡からの4名でBチームの2チームが出場し、団体戦は昨年に続き長岡の皆さんの東洋大学Bチームが敢闘賞をいただきました。

個人成績は今回初参加の長岡の今井嘉一さんが40名中5位入賞でした。その他15位の澤海雄一さんが大会記念賞、ブービー賞を杉澤洋子さん、ブービーメーカー賞を木村國夫支部長がいただきました。

大会後幹事の小生と木村支部長、今井さんの3名で妙高池の平の「ホテルアルペンブリック」に宿泊し、夕食は地ビール工場併設の「タトラ館」で焼肉を食べながら数種類の地ビールに酔いしれました。ホテル内の露天風呂は南地獄谷からの源泉かけ流しの湯で、黒い湯花の浴槽に浸かるとゴルフの疲れがとれました。

翌日は「妙高の高原とまと」で有名な大洞原の「池田農園」の直売場に寄りました。とまとは出荷のピークが過ぎ開店1時間で品切れ寸前でしたが、お土産に必要な量を買うことができました。

今回出場の選手の皆さん大変お疲れ様でした。また今年は3組の出場を目指しますのでゴルフが大好きな校友の参戦をお願いします。今年もケガのない楽しいゴルフをしましょう。今年の開催日は10月18日(日)を予定しております。



東洋大Bチーム 敢闘賞



東洋大Aチーム

令和元年度 東洋大学陸上競技部 山古志合宿激励募金収支 (令和2年1月19日)

東洋大学校友会新潟県支部 山古志合宿激励実行委員会

1 収入の部	激励寄付金：157名・312,000円	前年度繰越金：59,551円	合計：371,551円
2 支出の部	激励金：200,000円	激励品代：0円	経費：26,948円
3 残金	94,603円 (次年度繰越金)		

※注 1. 硬式野球部(8月サマーリーグ)案内無し、支援できなかった。 2. 陸上競技部、山古志合宿は中止となった。
・以上から12月1日役員会において、今後の活躍を期待し、集まった激励・協力を振込送金する旨決定した。
・12/19 25万円を送金した。結果、次年度繰越金は、94,603円となる。

本部よりカレンダー9枚扇子9本が送られて来ましてことを報告致します。

中越だより

第7回箱根駅伝祝勝会兼新年会次第

S54年 土木工学科卒 原 薫

令和2年1月25日(土) 長岡市「彦野」【参加者17名】

司会 佐田雅彦氏 (S49.経営卒)

挨拶 木村國夫支部長 (S45.経済卒)

- ・箱根駅伝総合10位残念だったが5区山登りで区間賞来年に期待。
- ・津田進氏の箱根駅伝応援ツアー参加報告が後であり。
- ・大学スポーツカレンダーの抽選会がこの後あります。
- ・オリンピック出場の「服部勇馬」さんを総会に来賓として出席してトヨタ自動車お願いした。

乾杯 村越仙二氏 (S50.経済卒)

歓談・抽選会

大学歌 星野修美氏 (S36.社会卒) 音頭

今年82歳。毎日1万歩目標。今日は11,159歩

締め 関 和之氏 (S61.社会卒)



「雑感」

S50年経済学部経済学科卒

村越仙二

振り返ると、今年は卒業から45年、何とも歳月が過ぎたと実感しています。大学を卒業以来接点のなかった校友会ではありましたが、4～5年程前に木村先輩から声をかけて頂き、参加する機会が生まれました。それ以来この会に参加することが年行事の一つになっています。

木村先輩(現支部長)には、良い機会を頂きましたこと感謝申し上げます。ありがとうございました。

そして今年1月25日(土)の祝う会、受付で席札「10番」を引く…瞬間的に「大当たり」の特等席と原稿執筆が確定しました。これもまた感謝!

さてさて、何を題材に原稿を…と考えているうちに、祝う会の後は、新型コロナウイルスで日本国内はもとより世界中が震撼、未曾有の経験、月日が経ち6月を迎えてしまいましたが、思うことを綴ってみます。

1. 箱根駅伝

ご存知のように、今年の第96回箱根駅伝の結果は、総合第10位(往路第11位、復路第7位)ではありましたが、第82回大会以来シード権を確保していること、また、第85回大会から11年間は第3位以内を確保してきている実績は、大いに胸を張れる結果と考えます。

来年の箱根駅伝に向けてトレーニングに励んでいることと思いますが、出来れば山古志合宿の復活(再開)で更なる活躍を期待する次第です。

2. 県内で「大学野球サマーリーグ」

5年程前から始まった「大学野球サマーリーグ」は、大学野球部の「選手育成(1・2年生中心)」と「地域貢献」を目的に神宮球場を飛び出し、新潟で「ひとつづくり」を!と企画され開催する運びとなったものです。

この熱意に三条市の共催を得て、毎年「三条パール金

属スタジアム」、「見附運動公園野球場」、「悠久山野球場」等の会場で、大学野球の次世代主力選手達が、熱い戦いと地域との交流を深めています。

主催は、大学野球サマーリーグ実行委員会(参加大学の野球部)で、東京六大学野球、東都大学野球、首都大学野球の次期主力選手を目指した大学野球1・2年生の育成を主眼に、新潟県三条市などに滞在して対戦しています。加えて、地元大学との交流戦や地域貢献プログラムとして県内高校との交流試合、小中学生への野球教室等々幅広く地域との交流を深めるなど新潟県内で展開していることは意義あるものと思います。

東洋大学もこのサマーリーグに参加し、選手育成に努めており、特に県内出身選手の出場・活躍は、何とも嬉しくなります。県内で、毎年のように大学野球を見られるチャンスがある環境は他県ではないものであり、今後もこのような素晴らしい取り組みを継続していったきたいものです。

是非、皆さんも機会がありましたら観戦してみてもは如何でしょうか?

3. 新型コロナウイルス

何とも悩ましい存在か?

「日常生活」が「非日常生活」になるとは、こんなに窮屈な事かとあらためて感じているところです。

例年であれば、1月になり今年1年が始まり、2月には…3月には…と12月までのスケジュール通りの生活が当たり前のように過ごせたものが、6月現在まで全てが狂っています。

今後も前の日常生活が出来ない環境下では、意識を変えることが肝要かと思しますので、これからは、「新しい生活様式」が当たり前になるように日々の生活を習慣化し、新しい1年間のスケジュール化を目指します。

皆さんは、如何でしょうか?

以上、とりとめのない原稿になりましたこと、ご容赦願います。 合掌

下越だより

下越地区懇親会が開催されました

令和元年11月2日(土)に新潟白山会(下越地区懇親会)が新潟駅万代口オリスビル4階の「越後まる松」に於いて開催されました。参加人数は16名で内初参加は4名(女性1名)でした。

会は斎藤 淳氏(S53法卒)の乾杯で開始をし、その後の自己紹介近況報告では、皆さん話すことが沢山あり予定時間をオーバーするほどでした。

昨年からはじめた東洋大学グッズ争奪戦は今年はいくじ引きとし9名の方が景品を獲得しました。

最後は恒例となった坂田康雄氏(S48経済卒)の「カッタカッタ東洋」で勢いをつけ阿部吉弘氏(S55経営卒)のクラリネット生演奏付で校歌を斉唱、中條文雄氏(S47工卒)の音頭で万歳三唱し盛況のうちに無事終了しました。



第32回 安吾忌が開催されました

恒例の安吾忌が令和2年2月17日、新潟市秋葉区大安寺の坂口家墓前で開催されました。

墓参の後新潟安吾の会の斎藤会長の主導で出席者全員の挨拶があり無事終了しました。下越地区からは斎藤顧問、阿部地区事務局長、大橋地区監事の3名が出席しました。



白亜の殿堂に仰天

S32年社会卒 金子俊二

令和元年10月に親戚筋の祝事があって上京した。満89才になり母校を卒業して63年経った。在学中に高校中学の教員免許を取得したが、母校OB佐野恵作評議員の勧めで全国社会福祉協議会(全社協)に勤めて福祉全般を学んだあと福祉医療総合施設の番頭として、定年で生まれ故郷の佐渡島に帰り現在に至る。そして腎結石や腸閉塞と前立腺がんなど、大病するも九死に一生を得て、回復して地元社協の講演や生涯学習の世話役など社会奉仕して、元気に生甲斐人生を謳歌して来た。今日まで数回上京する機会あれど、やや体調不十分にて母校東洋大学への見学は実現できなかった。

この度、東京にいる二人の娘からは是非とも孫娘の祝事にて上京をすすめられて実現した。即ち、母校東洋大学を見学して冥土の土産にと長年心掛けていた。時は流れて63年経っていた。思えば、当時は大学に国鉄新宿から

巢鴨駅から、チンチン電車の都電に乗って白山曙町で下車。その頃は携帯電話もスマホなどなかった。上京するにもすっかりおのぼりさんになり、気は若くても一人旅が苦痛になっていた。二人の娘は出迎えに新宿駅中央線ホームで待っていた。祝事が終わった翌日に連れられるままに念願の母校に参った。四谷駅から地下鉄に乗り目的地へ、電車の乗り物は全て「カード」であった。戸惑うばかりであった。

私は平素から母校「校友会広報」に折に触れ投稿していたので、その都度お世話になっていた「豊田編集長」にお会いしてご挨拶したかった。娘に事務局のある「甬水館」に寄ってから母校を見学したいと云ったら、突然伺ったら失礼になるといわれたけど、無我夢中で五階事務局に伺った。それでも豊田さんは愛想良く接して頂いた。ほんとうに感謝感激でした。

二人の娘から「東洋大学の学食は日本一」よ!と云われた。当時の大学の校舎は一部鉄筋であっても教室は木造建物であった。甬水館から道を挟んで母校東洋大学の正門に出た。夢にまで見た凄く立派な白亜の殿堂に仰天

した。先ず創設者井上円了先生の見上げる銅像に合掌した。そして、食堂に入るのに数人の学生と会話した。「私は佐渡島から来たOB」と云ったら、先輩お疲れさん、僕は埼玉で社会学科です、今卒論を纏めています。親切に食堂まで案内してくれた。何か先輩と後輩に血が通っているようだった。皆素晴らしい学生たちであった。インドカレイを食べた。とっても美味しかった。母校の益々の隆盛と発展を祈り帰り際にもう一度、故井上円了先生の銅像を拜んだ。長年の念願が叶い、やっと二泊三日の旅を終えて無事に佐渡島に帰った。

令和元年10月9日(水)快晴。



次女泉さんとともに
撮影は長女

校歌

作詞 林 古溪
作曲 山田 耕筈

亜細亜の魂再び此処に
目覚めしよろこび溢れつ人に
雄々しく掲げたり闘^{とき}の声
東洋大学生れぬかくて

亜細亜の天地暁明けて
仁義と慈悲との誠の光
今こそ輝け西の海
東洋大学務は重し

事務局より

◎校友会費納入についてのお願い

支部活動は校友会費納入による、支部還元金によって運営されております。納入頂いた方には、校友会本部から「東洋大学校友会報」が年3回送付されます。この雨水も還元金によって多くの方々の手をわずらわし、発行させていただいております。

年会費 3,000円

終身会費(1回完了) 50,000円

郵便振替 口座番号 00150-0-91833

加入者名 東洋大学校友会

◎雨水では、校友からの作品(絵画、書道、俳句、短歌、挿絵、生け花、盆栽等)を募集しております。

自薦、他薦いずれでも結構です。又、校友の動静がわかりましたら、ご連絡おねがいします。

(連絡先 各役員)

令和2年度 東洋大学校友会新潟県支部役員名簿

役職	氏名	卒年学科	所在地
顧問	安藤 良 顕	S43 工学	長岡市
顧問	植木 宏	S31 文学	上越市
顧問	斎藤 淳	S53 法律	五泉市
支部長(代議員)	木村 国 夫	S45 経済	長岡市
副支部長(代議員)	佐田 雅 彦	S49 商	長岡市
副支部長(代議員)	小島 正 弘	S39 経済	上越市
副支部長(代議員)	本間 直 彦	S50 英米文	新潟市
事務局 長	原 薫	S54 土木工	長岡市
会 計 部 長	西脇 晃	S49 経営	長岡市
監 事	原 薫	S54 土木工	長岡市
監 事	津田 進	S41 応社	長岡市
会 報 部 長	石塚 徹	S42 建築	長岡市
下越地区事務局長	阿部 吉 弘	S55 経営	五泉市
中越地区事務局長	原 薫	S54 土木工	長岡市
上越地区事務局長	石田 秀 男	S41 経済	上越市
レディスクラブ	大河内 邦子	S54 院文学	新潟市
レディスクラブ 事務局長(代議員)	高崎 弘子	S52 経法	長岡市

編集後記

コロナ禍。半年以上経つのに未だに終息が見えず、患者の数が多くなっているのが現状で、今年の校友会の新潟県支部総会は中止となりましたが、「雨水」第36号をお送りすることができ、非常に感謝し、楽しく読んでいただければと思います。

より良い会報作成のために、色々な方面で活躍されておられる校友の情報や、ご意見、ご要望、皆様の近況など、各地区の役員にお知らせ願います。

皆でコロナに打ち勝ち、来年の支部総会でお会いしたいと思います。

S42年工学部建築学科卒 石塚 徹